

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和4年11月16日(2022.11.16)

【公開番号】特開2020-151367(P2020-151367A)  
 【公開日】令和2年9月24日(2020.9.24)  
 【年通号数】公開・登録公報2020-039  
 【出願番号】特願2019-55314(P2019-55314)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

A 6 3 F 5/04(2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 5/04 6 0 2 A

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月8日(2022.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発光する所定のLEDが実装されているLED実装基板を内部に備えた入力装置と、  
前記LED実装基板を固定する固定部材と、

表示窓を有する扉と、

リールテープと、前記リールテープが巻き付けられるリール基部と、前記リール基部を  
回転させるモータと、前記モータが固定されるモータ固定ベースと、を少なくとも含むリ  
ールと、

30

前記リールが複数個並列に固定されているリールユニットと、

複数の前記リールを前記リールユニットにそれぞれ固定するための複数の係止部品と  
を備え、

前記所定のLEDの高さより、前記所定のLEDと同一面に突出している前記固定部材  
の突出している部分の高さの方が高く、

複数の前記リールのうち所定のリールと、前記リールユニットと、が前記複数の係止部  
品のうち所定の係止部品によって前記所定のリールを構成する前記リールテープよりも上  
方で固定されており、

前記所定の係止部品の長手方向の長さmと、前記所定のリールを構成する前記リールテ  
ープの頂部から前記リールユニットの上部内壁までの垂直距離nと、の関係が $m > n$ とな  
っており、

40

前記所定の係止部品の長手方向の長さmと、前記扉が施錠されている状況における前記  
所定のリールの最前部と前記表示窓との最短距離bと、の関係が $m < b$ となっている  
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

## 【 0 0 0 5 】

発光する所定の L E D が実装されている L E D 実装基板を内部に備えた入力装置と、  
前記 L E D 実装基板を固定する固定部材と、  
表示窓を有する扉と、  
リールテープと、前記リールテープが巻き付けられるリール基部と、前記リール基部を  
回転させるモータと、前記モータが固定されるモータ固定ベースと、を少なくとも含むリ  
ールと、  
前記リールが複数個並列に固定されているリールユニットと、  
複数の前記リールを前記リールユニットにそれぞれ固定するための複数の係止部品と  
を備え、  
前記所定の L E D の高さより、前記所定の L E D と同一面に突出している固定部材の突  
出している部分の高さの方が高く、  
複数の前記リールのうち所定のリールと、前記リールユニットと、が前記複数の係止部  
品のうち所定の係止部品によって前記所定のリールを構成する前記リールテープよりも上  
方で固定されており、  
前記所定の係止部品の長手方向の長さ  $m$  と、前記所定のリールを構成する前記リールテ  
ープの頂部から前記リールユニットの上部内壁までの垂直距離  $n$  と、の関係が  $m > n$  と  
っており、  
前記所定の係止部品の長手方向の長さ  $m$  と、前記扉が施錠されている状況における前記  
所定のリールの最前部と前記表示窓との最短距離  $b$  と、の関係が  $m < b$  となっている  
ことを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50